

ODA

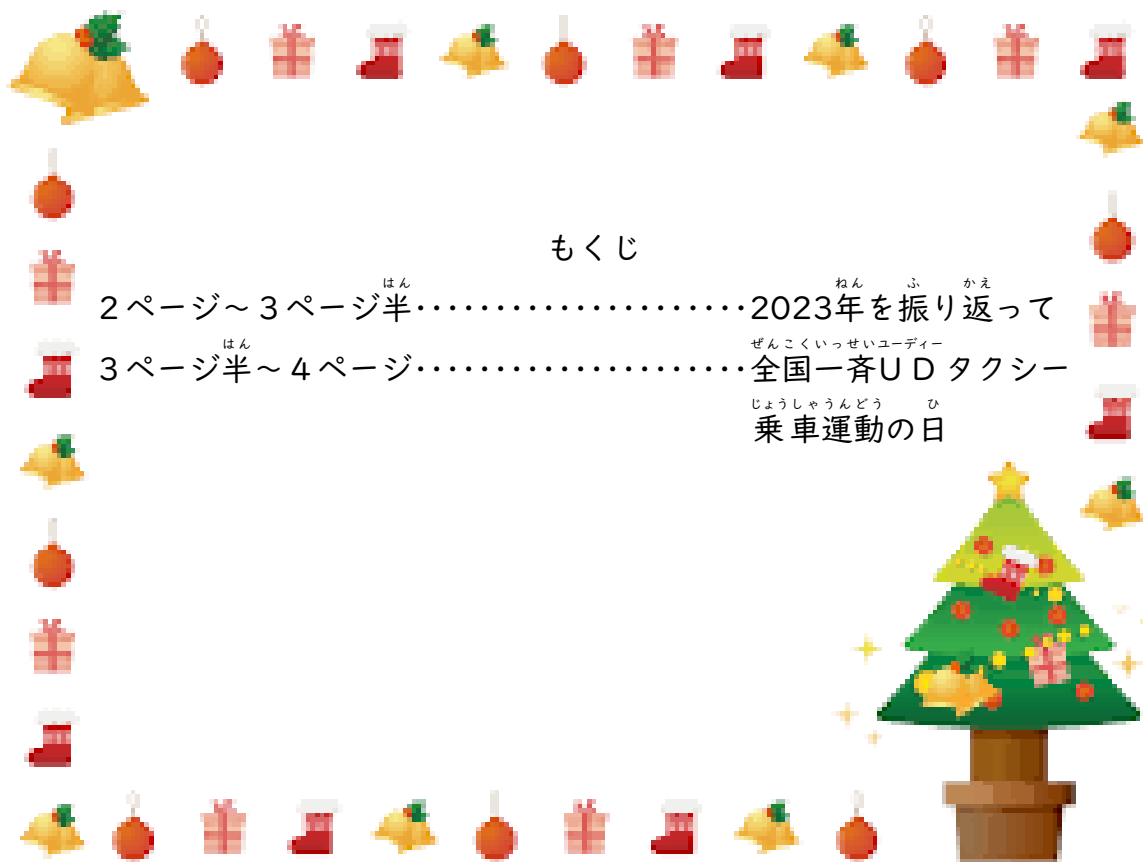
ピアネット・イルカ

つうかん
ODA通巻 : 1529



発行 社会福祉法人
 沖縄県身体障害者福祉協会
 編集人 NPO 法人沖縄県自立生活センター・イルカ
 住所 〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐4-4-1 (1F)
 単価 100円 (会費に含)

TEL 098-890-4890
 FAX 098-897-1877



もくじ

2ページ～3ページ半 ^{はん}	2023年を振り返って ^{ねん ふ かえ}
3ページ半 ^{はん} ～4ページ.....	全国一斉UDタクシー ^{ぜんこくいつせいユーディー} 乗車運動の日 ^{じょうしゃうんどう ひ}



ねん ふ かえ
2023年を振り返って

なが いれい こ
長位鈴子

ねん がつころ シーアイエル か めいだんたい げんしょう こと き きかん も じゅうどししょうがいしゃ ち
2023年1月頃から「CIL加盟団体が減少する事」に危機感を持ってきた。重度障害者が地
いきせいかつ きぼう かいじょしゃ ぼしゅう な て じりつしえん
域生活を希望しても介助者（ヘルパー）募集をかけても成り手がなくて、自立支援ができない
じょうたい
状態である。

ながねん き そんシーアイエル だいはう た かい かはんすうししょうがいしゃ たいかい じぎょうしょ
また、長年にわたって既存CILの代表の他界、過半数障害者がいなくて退会、ヘルパー事業所
もんだい おお しょうがいしゃうんどう だんたい げんしょう おお か だい すいしんきょう
の問題が大きくなり、障害者運動をする団体が減少といった多くの課題があることを、推進協
かいだんたい しえん ぶ ほな あ
会団体支援部で話し合ってきた。

あら はっそう と どう ふ けん わか て じゅうどししょうがいしゃいっくせい すいしんきょうかいだんたい しえん ぶ ちよくえい
そこで新たな発想として、都道府県に若手重度障害者育成をする推進協会団体支援部に直営
た あ けんしゅうぶ ちよう なが いれい こ だしん はなし き うれ はんめん
プロジェクトを立ち上げ、研修部長に長位鈴子に打診があった。話を聞いて嬉しかった反面、
なや すえ がつ へん じ だ
とても悩んだ末に3月に返事を出した。

がつ り じ ちょう だいはう ぞく すいしんきょうかいだんたい しえん ぶ けんしゅうぶ ちよう つと
4月からイルカに理事長と代表を属しながら、推進協会団体支援部研修部長を務めることに
ぜんこく じゅうどししょうがいしゃ ぼしゅう せい き こよう がくせい げんざい しょぞく
なり、全国に重度障害者の募集をかけた。もちろん正規雇用と学生バイトが現在、所属してい
くまもとけん いわて けん なが の けん ほっかいどう めい つね し ごとないよう はあく
る（熊本県、岩手県、長野県、北海道）の4名と常にネットで仕事内容を把握している。

あら しょうがいしゃきゅうじん しんじん ぼしゅう じょうたい どうきょう おきなわ に じゅうせいかつ
新たに障害者求人をしつつ、新人を募集している状態である。東京と沖縄の二重生活をし
か げつ かん こと じりつせいかつ じりつしえん ちが
て6ヶ月になる。そこで感じる事は、自立生活センターであっても自立支援のプロセスの違いや、
か そち とし ぶ ふん い き ちが とま こと おお
過疎地と都市部の雰囲気の違いに戸惑う事も多くある。

とく さいきん こと ば はっしん かた う と かた ちが
特に最近では、「コミュニケーション」といっても言葉の発信した方と受け取った方の違いに
とまど かん おお にち い じしん かんが なつとく こと かんちが つた
戸惑いを感じる事が多くて、2日位は自身で考えても納得できない事や勘違いを伝えあうよう
どりよく
に努力している。

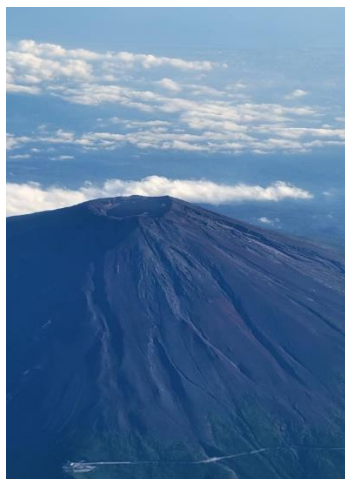
と どう ふ けん かく し ちょうそんかん しょうがいしゃふくし じ かんすう かく さ けいかく
あとは、都道府県、各市町村間でも障害者福祉サービス時間数も格差があり、サービス計画
せいかつ しょうがいしゃ かん わたし ふ あん
とおりに生活をしている障害者が多くなっているように感じるのは、私だけなのか？と、不安
である。

さっこん せいしんびょういん ぎやくたい ち てきしょうがいしゃ ぎやくたい あか こと くに
昨今、精神病院の虐待や知的障害者グループホームでの虐待が明るみにでるが、この事を国
けん し ちょうそん やくにん かいけつ など き なや いそが わす
や県、市町村の役人はどのように解決しているのか等、切りがないくらい悩んでは忙しさに忘
こわ かん
れることが怖く感じる。

い なか せんじん こと ば いま つうかん
「井の中のかわず」と先人たちの言葉が、今、とても痛感している。
い み おな ば おな こと つづ ほか み こと おおく
意味は、同じ場で同じ事を続けていたのでは、他のことが見えにくい。わからない事も多くある。
しんせん くうき す あら かんが かた と い こと こんご ひつよう かん ころ
新鮮な空気を吸い、新たな考え方を取り入れる事も、今後は必要だと感じるこの頃だ。

むす おお ひと ささ しょうがいどう じしやだんたい こんにち かつどう
結びに、これまで多くの人たちに支えられて、イルカという障害当事者団体が今日まで活動

できたことに、感謝いたします。これからも、末長く応援をよろしく願います。



全国一斉UDタクシー乗車運動の日

2023/10/20(金)は4年ぶりの「全国一斉UDタクシー乗車運動の日」だったので各事業所でタクシー協会のホームページを見ながらUDタクシー利用の電話を掛けました。しかし、電話オペレーターからは「UDタクシーは取り扱ってません。」や「JBタクシーが利用できる」と聞いたので「電動車いすだ」と言うと「1ヶ月前までに予約をしてください」、「対応できるドライバーがいない」、「電動の場合はヘルパーを付けることが法律で決まっています。」とされました。タクシー協会のホームページに「UD」「JB」とマークがある会社に電話をかけましたが、全部断られました。

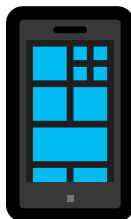
UDタクシーは「車いすのまま乗車できるタクシーで高齢者や障害のある人など誰もが使いやすいタクシー」とのことでホームページに記載されていますがこのような結果になったことに疑問と残念な気持ちを感じています。

UDタクシーに対す我々の思いは、「どこでも手をあげたら誰でも乗ることができるタクシーであって欲しい」ということです。しかし、それが現実となるまでにはまだまだ遠いものだと感じました。

今後、タクシー協会と我々当事者が力を合わせて研修などを行い、乗りやすいUDタクシーと

な^{おも}っていただけ^{おも}たらと思^{おも}います。

ユーディー
の
UDタクシーに^{おも}乗れるかな？



でんわ
電話ではまだ、「電動」^{でんどう}って^い言^いってないの
で^いどうなるの^いかなw



きょう ぜんぜん
今日^{きょう}は、全然^{ぜんぜん}つかま^いられ^いな^いか^つつ^ごが^ご今^ご後^ご
も^かつ^ごど^うも^がん^ばば^うも^う活^い動^いを、^い頑^い張^いる^いゾ^うー

ぜんこくユーディー
「全国UDタクシーの日」の^ひ運^{うん}動^{どう}結^け果^かを^し知^ちっ^ても^らう^ため^に意^い見^{けん}交^{こう}換^{かん}し^に一^い般^{ばん}社^{しゃ}団^{だん}法^{ほう}人^{じん} 沖^お縄^な県^{けん}ハ
イ^きヤ^いー^きタク^こシ^{かい}ー^{かい}協^き会^{かい}へ^いき^まし^た。

タクシ^きー^{かい}協^か会^がの^かた^がた^おき^なわ
タクシ^きー^{かい}協^か会^の方^かた^がが^おき^なわ^の一^い面^{めん}に「オ^おペ^おレ^おー^おタ^おー^おが^おUD^おタク^おシ^おー^お知^ちら^らな^ない^い会^{かい}社^{しゃ}も
あ^ある^る」と^の載^のっ^てい^いた^いの^いを^い読^よん^んで「ガ^いッ^いカ^いリ^い」し^して^いる^いと^い言^いっ^てい^いま^いし^た。

意^い見^{けん}交^{こう}換^{かん}は^いUD^いタク^いシ^いー^いの^い車^し両^{りやう}構^{こう}造^{ぞう}に^つい^てや^い研^{けん}修^{しゅう}の^はな^しの^話な^ど凄^すく^い良^いい^い意^い見^{けん}交^{こう}換^{かん}が^いで^きま^した[。]

今^{こん}後^ご「UD^いタク^いシ^いー^いの^い研^{けん}修^{しゅう}」が^ある^とき^は、呼^いび^かけ^てく^れる^と言^いっ^てく^れた^のが、凄^すく^い嬉^{うれ}し^かか^った^です

ユーディー
これからの「UDタクシー」は^いど^いう^いす^いる



ツーショット^{しゃしん}写真

